



平成 19 年 10 月 23 日

各 位

会社名 株式会社 テセック
 代表者 代表取締役社長 越丸 誠
 (JASDAQ・コード6337)
 問い合わせ先 取締役経理部長 矢崎 七三
 T E L 042-566-1111

平成20年3月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年5月15日に公表しました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期 中間連結業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月15日発表)	3,400	350	380	240
今回修正予想(B)	3,480	490	560	350
増減額(B-A)	80	140	180	110
増減率	2.4%	40.0%	47.4%	45.8%
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期中間)	3,777	759	781	593

2. 平成20年3月期 中間単体業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月15日発表)	3,200	270	300	180
今回修正予想(B)	3,320	390	460	270
増減額(B-A)	120	120	160	90
増減率	3.8%	44.4%	53.3%	50.0%
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期中間)	3,532	619	643	492

3. 修正理由

売上高につきましては、携帯機器、車載用パワーデバイス検査装置等の受注・売上が中国、マレーシアなどアジア地域で順調に回復したことから、連結、単体とも概ね期初計画どおりの推移となっております。

損益面につきましては、原材料・外注費の高騰等の影響を受けましたが、高採算性検査装置の拡販および採算性の管理強化等により売上総利益が増加したことから、営業利益、経常利益および中間純利益は、連結、単体とも上記のとおり期初の予想を上回る見込みであります。

なお、平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）通期の業績予想につきましては、現在見直し中であり、11月13日に予定しております中間決算短信発表時に公表いたします。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上